



整合する地積図を作成するとともに、地積図面を更正する手続きのための費用であり、全員賛成にて原案を可決した。

市道路線の認定については、新幹線船小屋駅設置に伴う船小屋駅前線と矢部川浄化センターへの進入路の島田宮ノ西線を認定するものであり、全員賛成で原案を可決した。



南西部住宅（仮称）完成予想図

次に、訴えの提起については、市営住宅の使用料を長期に滞納しているにもかかわらず、納入に誠意を示さない入居者に対して住宅

決算特別委員会

委員長 永田 昌己

の明け渡し及び滞納額請求の訴えを提起するものであり、全員賛成にて可決した。

あるが急性期病院（※注）として質の高い医療サービスの提供にもかかわらず決算においては年度末未処理欠損金が1億3,900万円と2年連続赤字決算となった。

当局的説明を受けて委員から経営改善へ向けて多くの質問や意見が出された。

▽病院経営の基本的な考え方について▽病院が赤字となった原因▽急性期病院としての改革の方向性▽臨時職員を含めた職員の勤務体制について▽市立病院と開業医の連携についてなど。

これらの質問に対して、

- ▽専門医の育成などにより、病院機能の充実を図る
- ▽急性期病院の在り方を市民に周知徹底する
- ▽病診連携を推進し、紹介率のアップを図る
- ▽医療収益に占める人件費の割合を50%を超えないよう努力する。

併せて経費節減、地域住民への情報提供に努め、職員一丸となつて地域の中核病院として引き続き経営改善に取り組むという答弁がなされた。

次に水道事業会計についてであるが普及率は73・5%、水の需要も僅かでは

あるが伸びており、決算としては8,560万円の赤字計上となった。

当局的説明を受け委員から▽普及率と将来の需要予測▽拡張整備の際の「30戸60%同意」の条件改善について▽西牟田水源取水井試験工事の状況について▽水道管本管の埋設方法について等質問が出され、▽将来2万トンの水量は必要、大山・小石原川ダムからの取水権も予定▽拡張基準の見直しを検討▽地域住民の不安解消に努めるなど答弁があり、更なる企業努力の説明を踏まえ審査の結果、賛成多数で公営企業会計決算是認定された。

※編集部注

急性期病院の要件

紹介率30%以上、平均入院日数17日以下、外来患者数対入院患者数が1.5対1以内などの要件を満たす必要があります。

あなたも議会の傍聴をしませんか

きっとまちのあしたが見えてくる

傍聴席入り口で住所・氏名などを記入すれば、誰でも傍聴できます。ただし、傍聴席には限りがありますので、傍聴希望者が多い場合は、人数を制限させていただきます。また、耳が不自由な方はイヤホンも準備しております。なお、本会議は、市役所の玄関ロビーやサンコアのロビーでもテレビ放映をしています。